やまがた認知症カフェ通信 2026 11月号

令和 8 年 11 月 18 日発行　発行元／山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ

やまがた健康フェア 2026 に出展しました！

９月 12・13 日にイオンモール天童にて、やまがた健康長寿日本一プロジェクト 2026「やまがた健康フェア 2026」が開催されました。フェアでは認知症の普及啓発活動として、13 日に「認知症について知ろう」のステージ発表と「認知症を理解しよう」のブースを出展しました。

「認知症について知ろう」のステージでは、認知症の人と家族の会山形県支部世話人代表の五十嵐元徳氏から「今知っていて欲しい認知症」をテーマに、わかりやすくお話しをしていただいた後、東北文教大学の認知症カフェ部学生による発表を行い、沢山の方に参加していただきました。

「認知症を理解しよう」のブースでは、認知症に関するクイズの他に、VR ゴーグルを装着し、認知症の当事者から見た世界を体験していただきました。認知症本人の気持ちや考えが表現されており、家族がどう接すればよいのかを考える内容で、「『認知症の方の気持ち』の理解に役立った」、「学習の機会を親子で持てた」、「認知症について大変勉強になった」等の感想をいただきました。どちらも年齢を問わない企画だったため、小さなお子さんや子供連れの若い世代の方も参加されるなど、認知症への関心が薄い方やアプローチの難しい若い世代へも普及することができる貴重な機会となりました。



県では、認知症の人が家族等とともに住み慣れた地域で希望をもって自分らしく暮らし続けることができる共生社会の実現に向けて、認知症への理解がより一層深まるよう、引き続き普及啓発を推進してまいります。

（山形県高齢者支援課）

さくらんぼカフェより

さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします！

宮城県山元町の民生委員さんがいらっしゃいました

10 月 9 日（金）に、宮城県山元町から町職員を含む民生委員など 14 名の皆さんがさくらんぼカフェを視察に訪れました。

当日は、さくらんぼカフェの活動や取り組みについてご紹介しました。山元町は高齢化率が約 43%と、宮城県内でも高齢化が進んでいる地域です。お話を伺う中で、民生委員の皆さんも日頃から認知症の方やそのご家族と接する機会があるとのことでした。地域で暮らす認知症の方が、これまでと変わらず自分らしく過ごしていくためには、身近な地域の方々の理解やちょっとした気づきが重要です。今回の視察が、日頃の地域での関わりや活動に生かしていただける機会となればと思います。





後半は、チームに分かれてボッチャとモルックを行いました。皆さんはどちらも経験があるとのことで、慣れた様子でスムーズにプレーされており、和やかな雰囲気の中で交流を楽しみました。

また、山元町は東北有数のイチゴの産地として知られています。皆さんが乗ってこられたバスにも、特産のイチゴとホッキ貝が描かれていて、とても素敵なバスで印象に残りました。

今回の視察は、私たちにとっても他地域の皆さんと交流できる貴重な機会となりました。山形県内の民生委員の皆さんも、ぜひお気軽にさくらんぼカフェへお越しください。（大瀧）

オレンジの輪

認知症の人にやさしい地域づくりを支える人をリレー形式でつなげます！

人と人とのつながりから広がる、認知症にやさしい地域づくり

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、本人や家族を支える場と、地域全体で認知症への理解を深めることが大切です。尾花沢市がその取り組みとして行っているものの中から、今回は『おれんじカフェ』と『おれんじカフェスペシャルデー』をご紹介します。おれんじカフェは、尾花沢市老人福祉センターを会場に月に２回ほど開催しております。参加者数は、認知症の人の家族や、認知症に関心のある方を中心に毎回 10 人前後が集まります。取り組みの中で今頑張っているのが『介護予防かるた作り』です。介護予防や認知症予防に関連する文章をみんなで考え、その文章に合ったイラストを描く・色を塗るといった作業を少しずつ進めています。得意・不得意がありつつも、みんなで笑い合いながら完成を目指していくのは楽しいものです。日ごろの思いや情報を共有し、参加者同士が友人となり、会話するのを楽しみに足を運ぶ方も多くなりました。また、認知症の人を支える家族が、身近な人には話しにくい悩みや思いを安心して吐き出せる場にもなっています。



『おれんじカフェ スペシャルデー』は、認知症への理解を深める事と、認知症施策の普及啓発を目的に、年に１回のイベントとして開催しています。絵本の読み聞かせとチェロ演奏のコラボや、美味しい珈琲の淹れ方講座、フラワーアレンジメント、アロマとハンドマッサージなど、毎回素敵な内容を企画し、たくさんの方に参加いただいております。スペシャルデーの参加をきっかけに、おれんじカフェに来てくれるようになった方もおります。おれんじカフェで人と人とのつながりを育み、認知症への理解を広げ、これからも一人ひとりが互いを認め合い、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。



（尾花沢市地域包括支援センター　戸津香織）

インフォメーション

ホットな話題をお届けします！

認知症カフェ運営者等情報交換会を開催しました

今年度は「認知症カフェにおけるピアサポートの現状と今後の展望」をテーマに、グループワークを行いました。グループワークの前には、ピアサポートについてのミニ学習も行い、理解を深めた上で意見交換を行いました。県内４地域、合わせて 66 名の皆さんにご参加いただきました。
参加者からの特徴的な取組やピアサポートの推進に向けたご意見をご紹介します。



認知症本人に参加してもらう取組

・認知症本人や認知症サポーターに受付などを手伝ってもらっている
・移動手段の問題があるためボランティアによる送迎を実施
・認知症本人の得意とすること、趣味などを引き出すことでいきいきする

ピアサポートの推進に向けた意見

・医師や民生委員などから認知症カフェを紹介してもらえることが重要
・ステップアップ講座を定期的に開催していきたい、諦めずに普及・啓発を続けたいなど継続を強調する意見
・認知症カフェの運営者も新しい認知症観を意識することが大事
・認知症本人に参加してもらうためにも偏見をなくしていくことが必要

発行元：山形県認知症相談･交流拠点さくらんぼカフェ　やまがた認知症コールセンター（山形市　県小白川庁舎内）
電話･来所相談･カフェオープン　月曜～金曜日　正午～午後４時
TEL　023－687－0387　FAX 023－687－0397　E-mail　kazokunokai@camel.plala.or.jp
皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。